

AJA Ki Pro Go - リリースノート v4.1

Firmware for Ki Pro Go

全般

ファームウェア v4.1 は、Ki Pro GO の新機能および機能改善が含まれています。潜在的な不具合回避のためにも、最新版のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com のサポートページでご確認いただけます。

v4.1 での新機能、更新および改善点

- ・新機能：フロント液晶モニターに表示するビデオをユーザーで任意で設定可能に
 - ・ Ki Pro Go の WebUI > Config ページ、または本体 CONFIG メニューボタンのメニュー 6.2 にて、全 4 チャンネルを四分割表示、または任意でどれか 1 つのチャンネルのビデオを選んで表示するよう設定することができます。(収録モード時は入力ソースを表示、プレイバックモード時は再生中の 1 クリップを表示)
- ・新機能：WebUI ヘプレビューモニター画面を追加
 - ・ 本体フロント液晶モニターに表示されている映像がプレビューとして表示されます。利用/確認しやすいように、オーバーレイ表示は有効/無効に設定可能です。このビデオはあくまでプレビュー用途になります。
- ・以前のバージョンにおいて確認されていた、USB メディアを収録先に設定しているが実際には USB メディアが Ki Pro Go に接続されていない場合、本体フロントパネルの収録ボタンを押すと挙動が不安定になる不具合を修正しました。
- ・以前のバージョンにおいて確認されていた、収録中に webUI 上の収録ボタンをクリックすると収録が停止してしまう不具合を修正しました。収録中の場合には、収録ボタンは無効になります。
- ・以前のバージョンにおいて確認されていた、HDMI 入力ビデオフォーマットが 1080i59.94 または 720p かつカラースペースが YUV10 または YUV 12 の場合に、HDMI インพุット 1 が正しい色味で処理されない不具合を修正しました。
- ・以前のバージョンにおいて確認されていた、WebUI 上のいくつかのテキスト入力箇所においてカット/コピー/ペーストができない不具合を修正しました。
- ・以前のバージョンにおいて確認されていた、アンダーバー記号 (“_”) が入力できない不具合を修正しました。

- ・以前のバージョンにおいて確認されていた、B フレーム設定を 0 よりも大きい数値に設定している状態でエンコードビット深度/クロマサブサンプリング設定を 10-bit 4:2:2 に設定した場合にシステムが固まり再起動が必要になることがある不具合を修正しました。
 - ・最新版ではこの組み合わせは無効になり、B フレームは 0 に自動的に設定される旨アラートが表示されます。10-bit または 4:2:2 ではない設定に変更すると、B フレーム設定の値は以前に設定されていた値が適用されるようになります。
- ・ macOS Sonoma において Mac の Safari ブラウザを用いて WebUI に接続している場合には、SMB 共有ストレージのクリップリストを素早くスクロールすると画面リフレッシュがうまくいかないことがあります。この不具合については今後のアップデートで修正予定です。

ファームウェアアップデート時の配慮事項

- ・ファームウェアアップデートの前に、CONFIG メニューの Factory Reset（工場出荷状態に戻す）を行ってください。
- ・ファームウェアアップデート完了後は、一時的に Web ブラウザ（Safari、FireFox など）との接続が途切れますので、その場合は Web ブラウザを一度リフレッシュすると Web UI に再接続ができます。
- ・収録中にはファームウェアアップデートは行えません。ファームウェアアップデートを行う前に、Ki Pro Go が（収録中や再生中ではなく）停止状態にしてください。